



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

ELSI研究を不可避とする 思想史的背景

中山 竜一

大阪大学大学院法学研究科長

大阪大学社会技術共創研究センター教授(兼担)

前提：現代における法と政策の認識論的基盤

〔第1次科学革命：デカルト=ニュートンの世界像〕

因果関係の認識＋自由意志による介入➡ **過失責任**

〔第2次科学革命：確率革命〕

統計データと確率（リスク概念）➡ **未然防止 prevention
無過失責任・保険**



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

「リスク社会 Risk Society」(U. ベック, 1986)

計算不可能なリスク(= 不確実性)の時代へ

- ・人の手が生みだしたリスク(A. ギデンス)
- ・社会それ自体が実験室に(B. ラトウール)



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

法や政治になにができるか？

費用便益分析＝リスク・トレードオフを考える

事前警戒原則（予防原則 precautionary principle）



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

三つの対応策

- ・リスク判断の個人化(←「市場」等のシグナル)
- ・リバタリアン・パターナリズム
- ・熟議民主主義

いずれにあっても前提は、歪曲のない情報やデータの公開と共有